

親子のやる気 親の気づき

〇〇六



最近、宿題や課題について「やってきたか?」「聞けば」「はいやりました」といっても簡単に答える子どもたちが増えてきました。どうも怪しいと思ったら「最後までやったのか?」「出来るようになったのか?」「出来るようになったのか?」と畳み掛けることになって

面倒

います。すると十中八九、決まって返答は「うん、うん、はい」と返ってくるのです。ツッパったりキレたりする子どもたちは急激に減り、表情も語調も穏やかになりました。しかし、話がかみ合わないのです。こちらはどうも疲れてしまうのです。

「何事も先送り」習慣化

家庭で教える機会大切に



by Yoriko

けません。来週にはやってくるよ」「やってもなかったのはなぜ?」「特に理由は...」「では今日までにできなかつた課題が来週ならできる理由は?」「頑張ります」「特に理由は?」「誤魔化すな、誤魔化した課題ができるようになる理由は?」「...」と強い口調で話したら、「実は睡眠が襲ってきたのだらう。先生との約束が果たせなかったのだから、強烈的な睡眠が!」「いいえ、そこま...」とときどきなんでも「では、理由は?」す。誤魔化してしまっただ、面倒だっただす、自分を。でも人に

けなんです。私は哑然とし、自分の耳を疑いました。先日は提出物を何度か仕事で...自転車がパンクして...今度は頑張ります」と話すので、「誤魔化すな、誤魔化した課題ができるようになる理由は?」「...」と強い口調で話したら、「実は睡眠が襲ってきたのだらう。先生との約束が果たせなかったのだから、強烈的な睡眠が!」「いいえ、そこま...」とときどきなんでも「では、理由は?」す。誤魔化してしまっただ、面倒だっただす、自分を。でも人に

は迷惑をかけています。私の方が驚いて「では、なぜ自分を誤魔化するのか?」と聞いてみました。親子の関係は本質的には親が子に「教える」ことを基礎としています。それが愛情に基づくと考える人もいます。親子の関係は本質的には親が子に「教える」ことを基礎としています。それが愛情に基づくと考える人もいます。

世の中が豊かになり、安全で便利なゆとりのあるライフスタイルの中で育てば、何事も面倒になり、辛いことが増えて行きます。教育の「ゆとり」が「何事も先送り!」という習慣を子どもたちに教えているとしたら、もう一度、子育ての中で、親が子に「教える」機会が大切になると思

世の中が豊かになり、安全で便利なゆとりのあるライフスタイルの中で育てば、何事も面倒になり、辛いことが増えて行きます。教育の「ゆとり」が「何事も先送り!」という習慣を子どもたちに教えているとしたら、もう一度、子育ての中で、親が子に「教える」機会が大切になると思

(畑山篤志 志学塾塾長)



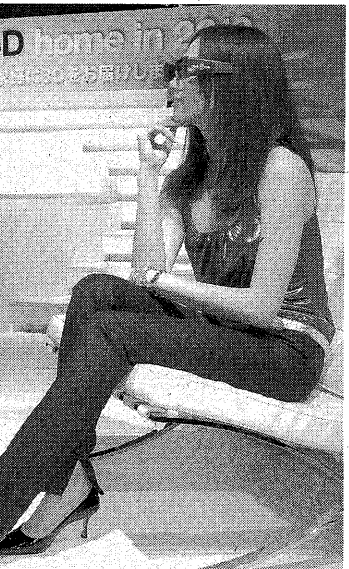
フ

「ヒュー やってき キヤッチ、世を風靡 た洋だこ ト」。日本 を迎え、盛りに上り、ものころ始 さん世代が てファンタ された。

発売開始 年。三角形 ザインと、 に高く揚 から爆発 し、70、0 中学生の多 た。累計 0万本の ころ売 ころ。現在 の間約10万 デザインは 段も当時 円(税込) フアン

ニュース なぜなに

です。両方の見え方を合成することで、私たちは奥行きを感じています。3Dはこの仕組みを利用したものです。ふつうの映画やテレビでは両目とも同じ映像を見るのに対し、3Dでは右目と左目で別々の映像を見るよ



情報技術の見本市に展 れた3Dテレビは09 月、千葉市の幕張メッ 見続けている。目 かけます。その 見えかけなくても、 的に見える映像の開 進んでいます。